



広報のまち



二つ目の信号機

登別十字路につく

登別町二つ目の信号機が、登別駅前通りと国道の交差する十字路に設置されました。

この十字路は、国道三十六号線にあって、最も交通量の激しいところで、登別温泉の表玄関ともなっている。

このため、登別地域の住民から何度も要請があり、また、町としても早くから道公安委員会に、交通信号機の設置を要請してきた。

これらの努力が実って、予定より二日も早い十一月八日から待望の信号機がお目見えし、横断歩道の安全性が高まったと町民は喜んでます。

この信号機の設置により、町に警別の信号機を合せ、二つ目となりました。

年末・年始の事務取り扱い

役場の年末・年始の事務は、十二月二十八日午後から一月三日までと、一月四日午前十二時より休みとなります。

なお、税務課徴収事務および水道事務（水道料納入）は、三十日まで、出納事務（各税金納入）は三十日午前中までおこないます。

町の人口

(十一月末現在)

男	二一、四〇三人 (四四増)
女	二〇、八四四人 (八八増)
計	四二、二四七人 (一三三増)
世帯数	一一、一一五世帯 (五六増)

諸届け出は簡素化

住民基本台帳法により

窓口は一本化

いままでも別々に届出をしていた
転入届(異動届)、選挙、国民年
金、国民健康保険、衛生事務、水
道給水使用移動、転入学、税務課
税台帳処理等に関する届けは、十
一月十日より住民基本台帳法の
施行により、これらの諸届け出を
一本化し、統一されたみなさん
の台帳が作成することになりました。

したがって、いままでも同じ役場
に出すものでありながら、二回も
三回も同じようなことを書かなか
ればならなかったことが、いちど
に一つの窓口で、用をたすことが
できることになりました。

転入のときは
忘れず届け出ください

住民として登録(住民登録)を
していない人は、異動届の受理が
できないばかりか、選挙に関する
届、国民健康保険に関する届等は
法的にできません。
転入のときは、前任所の転出証
明書をそえて、確実に届け出し
なければ、この窓口一本化の効果
をあげることができません。

基本台帳について十分ご理解の
うえ、必ず転入届けをしてくださ
い。

道路を広くする運動

十二月十日～一月十日

冬は、雪のため道路の状態が悪
くなり、毎年、交通事故が多発し
ています。

とくに、年末年始は、人が混雑
するうえに売出しによる商品を歩
道に陳列したり、または除雪をし
ない非協力者のためにおきる歩行
者の事故が目立ちます。

そこで、十二月十日から一月十日
までの年末年始の間、道路を広く
する運動を強力におしすすめる
ことになりました。

この期間中、町では、署や
交通安全協会等の協力を得て、
次の点について、みなさんにとこ

- ・各家庭の家のまわりを除雪する
- ・車道ばかりでなく歩道の除雪もする
- ・消防活動が十分できるよう消火栓のまわりも除雪する
- ・除雪をしやすくする
- ・道路に車を放置しない
- ・道路に商品、雑品など放置しない
- ・道路に置看板など置かない

彰

統計功労者

国および道の指定統計調査員として、多年にわたりあらゆる困難を克服し、統計調査の向上に貢献された功績をたたえ、このたび、知事より、次の方々が表彰されました。

表

五年級功労者

安達 保(飯山)、酒井喜代司(登別温泉)、佐々木光子(来馬)、猪股 宏(鶯別)

二十年級功労者

平 久栄(来馬)、南 輝雄(千歳)、辰田光次郎(登別)

青少年健全育成功労者

加藤真徳信氏(幌別)

青少年の善導に献身し、大きな成果をあげた、青少年健全育成推進功労者の知事表彰が、十一月十八日札幌のグランドホテルでおこなわれ、加藤真徳信氏(幌別)が表彰されました。

加藤さんは、町の子供会や少年パトロール会を結成するとともに指導育成に努め、とくに交通事故防止に力を入れて、また、地域他機関との連絡を密にとり、地域福祉の向上に貢献し、町の社会教育委員もつとめている。

禁止行為

- ・道路でのスキー、スケート、ソリ遊びはしない。
- ・歩道に商品、雑品、など置かない。
- ・道路に車を放置しない
- ・歩道に修理のための自転車、オートバイ、自動車など置かない

年末年始の衛生業務

年末年始の衛生業務の取扱いを次のようにおこないます

◎汲取業務
十二月二十日までの申込み分は年内に汲取り、出来る限り十二月末日まで分は、汲取りしますが、残りは受付順に年始まわし(一月五日より)といたしますので、早めに申込みください。

◎ごみ収集(日程変更)

年末年始のごみ収集は、非常に混雑を予想されますので、十二月二十八日、二十九日、三十日の三日間、朝六時よりごみ収集をおこないますので、ごみ容器は、早めに所定の場所にだしてください。

塵芥収集車

厚生年金号購入

町では一日五十台のごみがでており、明るく、住みよい街づくりのため、いま、五台の塵芥収集車



購入した厚生年金号

変更前	変更後
日 月 日	日 月 日
水 一	火 一
一 三	二 金
土 一	一 一
一 六	五 四

便槽内に異物の投入はやめよう

汲取業務を円滑におこなうため連日けんめいな努力をしておりますが、便槽の中に衣料やその他の異物を投げ入れると、汲取車、その他他尿消化槽処理のとき、機器等の故障や不具合がありますので、投入しないようみなさんご協力をお願いいたします。

美 挙

(愛情銀行へ)

- 加藤真徳信(幌別) 一、〇〇〇円
- コヒビロ(来馬) 八、〇〇〇円
- 大越チヨ(来馬) 雑布二〇〇枚
- 岩花五郎(温泉) 切手五〇〇枚
- 梶 隆夫(幌別) 衣類三〇枚
- 匿名(幌別) 字用品三〇包
- 鷺別老人クラブ(鷺別) 雑布一四〇枚
- (歳末たすけあい募金へ)
- 丸山武雄(千歳) 一、五九九円